



岡山フルートの会会報

2013年3月号 第169号

HP:<http://www.okayama-flute.net/>

E-mail:okayama-flute@mail.goo.ne.jp

北国では記録的な寒さだったそうですが、そろそろ春が訪れるでしょうか？ 旭川の上を吹きぬける冷たい風を感じながら毎週練習に向かい、時々春の兆しを感じながらも気づいたら演奏会の本番がやってきておりました。演奏会に出演なさった皆様、そして手伝ってくださった皆様、本当にお疲れ様でした！ 終わって、ほっと一息…というところかもしれませんが、時間が過ぎてじわじわと沸いてくる想いもあるかもしれませんね。また、諸々語り合いながら、共にフルートを楽しんでゆきましょう！

#星っさんコーナー (その85)

「フルートのヴィブラートを考える」

顧問 星島明郎

先日、ある生徒から「ヴィブラートはどこでかけるのですか、どの様に練習すれば良いのですか」と質問されました。私自身、年とともにヴィブラートが大きく不安定になり、最近では音色に対する自信も揺らいできていた時なので、あらためて今一度考えてみました。私は今から15年前、平成9年のフルートの会夏季合宿で、「フルートのヴィブラートを考えよう」と題してお話した事があります。その時の資料が出てきたので読み返してみました。先ず、モーツァルト作曲フルート協奏曲二長調の第2楽章の美しいフレーズの一部を、モイーズ、バルワーザーからニコレ、ゴールウェイ、グラフェナウアーなど14名の古今の名手達がどの様にヴィブラートをかけて表現しているかを聴き比べました。名手達はそれぞれ自身の音楽観と美意識にしたがって個性的なヴィブラートを使用し、それが誰の演奏と分かるほどの豊かな表現をしていました。次にヨッヘン・ゲルトナーの名著「フルート奏者のヴィブラート」の内容を要約してお話しましたが、この本の解説をされている吉田雅夫先生（元東京藝術大学名誉教授）はその序文で「ヴィブラートは人間の感動の自然の表現です。ヴィブラートによって音は美しく感じられ、演奏する人の美意識が具体化され、演奏が個性的になるといっても過言でもありません。」と述べられています。そして、この本で語られている19世紀から20世紀にかけての、ノンヴィブラート奏法からヴィブラート奏法への変遷の過程を実際のレコード録音で聞いて頂き、理解して頂きました。この講習ではヴィブラートの歴史的意味と必要性についての理解が主でしたが、もう一つ生徒の質問「ヴィブラートはどこでかけるのか、どの様に練習すればよいのか」の答えとなる本が一冊あります。それは世界一の美しいヴィブラートを持つと言われるジェームス・ゴールウェイの著になる「フルートを語る（シンフォニア）」という本です。この本でゴールウェイは、あらゆるヴィブラートについて（ノン・ヴィブラートも含めて）4ページにわたってその具体的練習方法などを丁寧に説明しています。「どこでかけるのか」の疑問に対しては「一般には横隔膜の筋肉が関係すると言われていたが、私は喉の筋肉が圧力のコントロールに関係し、そして横隔膜はそれに合わせて震えているだけだと思う」と説明しています。又「喉のヴィブラートをやっている奏者は好結果を得ている」とも言っています。そして「どの様に練習すればよいのか」に対しては、メトロノームを使って、ハーハーハーと発音しながら音の波を次第に変化させていく方法を詳しく説明しています。ゴールウェイ自身この方法を毎朝3分間ほど練習に組み入れているそうです。そして「皆さんがヴィブラートを正しく理解したいなら、この方法こそ皆さんがしなければならぬことです。皆さんが速いヴィブラートや遅いヴィブラートをつけて、あるいはヴィブラートなしで演奏できるようになりたいなら、それこそ用いなければならぬ方法なのです。」と述べ

ています。今私は、この限られた紙面でゴールウェイのヴィブラートに関する考え方のみを要約し詳しく説明することはひかえたいと思います。ヴィブラートのみならずフルート演奏全般にわたってのゴールウェイの高い見識を理解されたいならば、この本をご自分でつぶさにお読みになることをお勧めします。

フルートの神様と言われたマルセル・モイーズ（1889-1984）は、高名なオペラ歌手の歌うヴィブラートを聴いているうちに自然に習得したと言われています。多くの音楽体験を積み、さまざまなヴィブラートを聴いて、内からの音楽表現が出来るようになることが理想だと思いますが、ゴールウェイの練習方法もそれなりに大切な練習方法だと思います。大いに参考にしたいと思います。

#演奏会情報

♪フルートトリオコンサート “Happy Whiteday”

日時：3月14日(木)開演19:00

会場：春ごろカフェ

入場料：2,000円(お食事+1ドリンク+デザート付) ※要予約

曲目：小組曲第2番/アルピージ、ジュピター/ホルスト他

※チラシに掲載のパーティータ&ゴーストは都合により変更になりました。

出演：三尾奈緒子，立石和美，臼井真菜

お問い合わせ：080-1935-5644（立石さん）

♪さんくす☆コンサート Vol.5

日時：3月17日(日)開演14:00(開場13:30)

会場：岡山シンフォニーホール イベントホール

入場料：500円

曲目：パンの笛/ムーケ 他

出演：立石和美

お問い合わせ：080-1935-5644（立石さん）

#演奏会情報&チラシの会報への同封について【重要】

演奏会情報は3月29日(金)までに西原明弘さん(会報係チーフ)に連絡してください。また、演奏会のチラシを会報封筒に同封・郵送(原則として奇数月のみ)を希望される場合は、A4版三つ折りにした状態で長谷川楽器店に持参してください。その際、必ず事前に会報係チーフに連絡し、会報発送数を確認してください。
お問い合わせ：badflute@gmail.com(西原さん)

#チラシをホームページに掲載する方法について【重要】

演奏会のチラシを岡山フルートの会のホームページに掲載してほしい会員は、チラシを折らないでホームページ係チーフ(柴田さん)に郵送してください。なお、チラシをPDF化できる会員につきましては、以下のアドレスにファイルを添付してお送りください。

ホームページ掲載用チラシ送付先：柴田 聡さん

〒703-8282 岡山市中区平井1126-52 okayama-flute@mail.goo.ne.jp

【会報の封筒詰めのお知らせ】

4月号の会報の封筒詰めを、4月2日(火)午後7時から長谷川楽器店3階ホールで行います。

会員の皆さまには、ぜひ、封筒詰めのお手伝いをお願いします。